



教育目標

笑顔追求（腹栄中大好き）

文責 福島英士郎

1 生徒会を中心に笑顔あふれる腹栄中づくり努めています。

5月22日の大運動会には多くの保護者や地域の皆様から「とても素晴らしい運動会でした」「生徒達が真剣でありながら、とても楽しそうに競技していました。見ていてとても気持ちがよく元気をもらいました」等の御意見をたくさん頂くことができました。子ども達や先生達も満足感一杯の表情を見せてくれて、とても嬉しかったです。

ここで6月3日（金）の生徒集会で、生徒会の役員が全校生徒の前で話した、運動会の感想や生徒総会に向けての話の内容を紹介します。



○よりよい腹栄中学校をめざして

皆さん、先日行われました運動会は一人一人が全力で取り組み、全員が主役になることができたと思います。本番では自分達の競技はもちろんですが、自分以外の競技が行われている時の応援が素晴らしかったです。

さて次は中間テストです。3年生にとっては受験に向けての重要なテストです。1,2年生にとっても大事なテストです。いい結果がでるよう頑張りましょう。中間テストが終わると、いよいよ中体連大会となります。3年生にとっては、この大会が最後となります。今までともに頑張ってきた仲間と玉名荒尾の中体連を優勝し、県大会に行きましょう。今まで指導して下さった先生やコーチ、いつも応援してくださった家族に感謝の気持ちを忘れず、残りの練習を頑張りましょう。そして、この腹栄中学校がもっと良くなるために、みんなで頑張っていきましょう。

生徒会副会長 諫山梨花さん

○腹栄中学生総会とは

6月13日（月）に生徒総会があります。生徒総会は、生徒会と各委員会、会員のみんなとの意見交換の場です。皆さんには腹栄中の生徒としての自覚とよりよい腹栄中づくりの意識を持って取り組んでもらいたいと思います。今回の生徒総会の内容は、①生徒会執行部の年間活動計画の承認②各委員会の年間計画の承認③各クラスで、腹栄中をよくするための意見交換です。よりよい腹栄中を作っていくためにクラスで協力して積極的に話し合いをしてください。

生徒会書記 中川詩央里さん

2 虫歯を予防するフッ化物洗口を実施しています。

先日、本校の歯科検診が終了しました。本校歯科医の先生より「年々、虫歯や歯肉炎等は減少しています」というお話を聞きました。

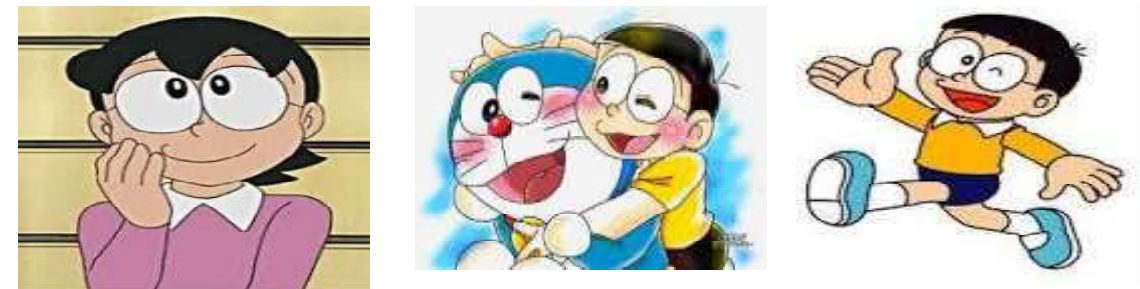
6/4～6/10は歯と口の健康週間です。1989年より当時の厚生省と日本医師会が推進する「8020ハチマルニマル」運動を紹介します。80歳になっても20本以上の自分の歯を保とうという運動です。20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足でき、生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるという願いを込めて始めました。本校でも毎週木曜日にフッ化物洗口を実施しています。また年2回、保健センターの協力でブラッシング指導も行っています。

いつまでも元気な歯が保てるよう御家庭でも御指導願います。



3 子どもの成長を楽しむ（保護者のみなさまへ）

「ドラえもん」が長寿番組になった要素の一つに人物構成があります。のびたはとても自尊心の低い子どもです。お母さんは「○○しなさい」「○○しちゃだめよ」と指示・命令を言い続けています。「しつけ」のつもりで言っているのですが、のびたの心には響いていません。このようなのびたのそばに「失敗してもいいんだよ。やってごらん」「大丈夫、君ならできる」と繰り返し励ますドラえもんがいます。この励ましでのびたはやってみますが、成功や失敗をします。成功すると「よかったね」とのびたと気持ちを共有します。失敗しても非難しません。



保護者の皆さんが日頃よく言っている言葉は、「早くしなさい」「言うことを聞きなさい」「何度も言わせないで」でした。多くの保護者はきっと、しっかり自分のことを考え自立した子どもであって欲しいと願っているのではないのでしょうか。「○○ができたからいいね」は、できたことしか認めてもらえません。できないことは「自分はだめだ」と思ってしまいます。大切なことは、やろうとした意欲を認めることだそうです。失敗が許されるとチャレンジできます。

また、「お母さんやお父さんは嬉しい」と自分を主語にした言葉をかけることで、子どもは「自分の行動が他者を喜ばせることができる」と役に立った自分に自信を持ちます。そして保護者に愛情を感じるそうです。